



南戸塚中だより

令和3年度 第8号
令和3年12月22日発行
学校長 赤堀 貴
電話 871-7611



冬の楽しみ～寒さの中の美しい星空～

12月14日(火)の夜、換気のため窓を開け明るく光る月を眺めていたら、月より明るい流れ星が西に向かって線を描き、最後はバラバラに散るように消えていきました。



そういえば、ふたご座流星群のピークだというニュースがあったことを思い出しました。流れ星は、見ようと思って見続けていてもなかなか出会うことができないものです。ラッキーでした。何か良いことがあるといいなと思いました。

冬休みも健康観察を

12月25日(土)～1月6日(木)までの13日間、冬休みとなります。学校へ来なくても、毎日の健康観察は行ってください。万が一、新型コロナに感染してしまった場合は学校へ連絡してください。連絡方法など詳細は次のようになります。

生徒の感染が判明した場合

12月27・28日、1月4・5・6日は南戸塚中学校へ連絡する。

12月29日～1月3日に感染が判明した場合は1月4日に南戸塚中学校へ連絡する。

【南戸塚中学校 TEL 045-871-7611 (8:30～17:00)】

ふれあいコンサート

12月4日(土)午前、下郷小体育館にて南戸塚中学校区 学校・家庭・地域 協働事業「ふれあいコンサート」が開催されました。少し寒さを感じましたが、青空と暖かい日差しが気持ちのいい好天に恵まれました。千秀小の和太鼓は、体に響いてくる迫力ある音と、入れ替わり太鼓を渡っていくパフォーマンスで圧巻でした。下郷小特設合唱クラブは、ステージに上がったときからオーラを感じ、演奏もクオリティーが高く、聴きごたえがある演奏でした。小雀小のバトンダンスクラブは、赤いユニフォームがかわいらしく、音楽に合わせてバトンを使ったダンスで、観客を魅了していました。南戸塚中の合唱部は、小学生の発表の後ということもあり、中学生の一步大人に近い雰囲気を感じさせてくれました。南戸塚中の吹奏楽部は、TV番組のメドレーやポップス中心の選曲で、会場が一体となって楽しむ演奏をして

タイトル上のメッセージ

タイトルも“*Keep yourself alive*”という歌の一部です。日本での曲名は『炎のロックンロール』です。英語の意味というより、激しい曲なので、このような日本語タイトルになったのでしょうか。*Keep yourself alive*に続いて、*It' ll take you all your time and a money. Honey, you' ll survive.* (自分自身を生きろ、時間もお金も全部使って生き続けるんだ)と続きます。うまくいかないこと、悩むこと、失敗してしまうことがあると、他の人がすばらしく見えて自分はダメだって思うことは誰にでもあるでしょう。そんな時はこの曲を聴いて、“*Keep yourself alive*”と声を出してみませんか。



くれました。新型コロナの影響で昨年のこのイベントは中止でした。また、しばらくこのような発表の場がありませんでしたので、今回、入場者の制限など感染対策をしておこなったのですが、とてもよかったと感じました。本番に臨む緊張感ある顔、発表中の集中力のある態度、発表が終わってからの充実感ある表情が子どもたちの大きな成長につながる機会だなと感じました。また、地域や保護者の方が、この地域の子どもたちの活躍を温かく見守ってくださっている様子も伺うことができました。同じ場所、同じ時間、同じ空気で生の演奏やパフォーマンスを発表・鑑賞する機会は、やはりオンラインではできない価値があると改めて感じました。

2年生 職業体験

12月8日(水)に2年生は職業体験を行いました。校外へ出て各事業所で体験する形は今年もとれませんでした。大人のプロの仕事ぶりは、やはり迫力がありました。生徒の感想を載せます。

【フラワー装飾を体験して】私たちが生活の中で直接関わったりすることは少ないけど、詳しく話を聞いてみる、とても面白くて、いつもより積極的に体験することができました。体験してみると、やっぱりプロの人はすごいなと思いました。

【建築大工を体験して】今回、実際に木を組み立てて、とても力のいる仕事だなと思いました。体験した木は何回も組み立てているからすぐに入ると言っていたのですが、新しい木はとても硬くて大変で、すごく力のいる仕事だなと思いました。地震などにも耐えられ、日々生活できるのは建築大工さんのお陰だなと思いました。



1年生 横浜遠足

12月10日(金)に1年生は横浜遠足へ行きました。実行委員長の言葉を載せます。

私は、班のみんなで協力して行動ができた最高の遠足になりました。天候にも恵まれ、無事に終わって本当に良かったです。一日中班ごとに協力して予定を確認したり地図を見ながら進んだり、大変なこともありましたが、とてもいい思い出になりました。

「遠足当日」が一番の思い出になりましたが、遠足が成功するために、私たちはたくさんの準備をしました。協力して行った準備の時間も含めていい思い出として今後の生活をより豊かなものにしていきます。

春に行われる予定が、新型コロナウイルス感染拡大防止のために12月に延期されました。一度は延期になった遠足ですがそのぶん楽しい気持ちも膨らんでいき、限られた中で工夫して楽しめました。中学校初めての行事として、クラスや学年がまとまるきっかけになる遠足も良いものだと思いますが、今のクラスの輪ができているときに行うことで、より一層絆を深める行事となりました。

入学当初から変わらず、青学年全体があたたかくて優しい空気で、毎日いたるところから明るい声が聞こえてきます。それが、この遠足を終えた今、言葉では表せないような何か新しい、よりお互いを信頼し合っているような空気へと変わった気がします。これまで、班で話し合う時間がたくさんありました。時には多人数で過ごすことの大変さを実感することもあったかもしれませんが、それと同時に、一人では味わえない良い思い出になりました。そんな遠足になったのは、班のみんながいたからだと思います。

結団式で、「『アポロ100号〜ちいさな一歩が、なんとつにとつての大きな一歩〜』という学年目標を意識して遠足に行きましょう。」という話をしました。今回の遠足は小さな、たった数時間だけの出来事だったかもしれませんが、わたしたちにとってはとても大きな一歩になりました。

